

八熊線の整備効果

事業の概要

都市計画道路八熊線は、名古屋市中川区供米田から昭和区檀溪通に至る全長約12kmの、全線4車線の幹線道路です。

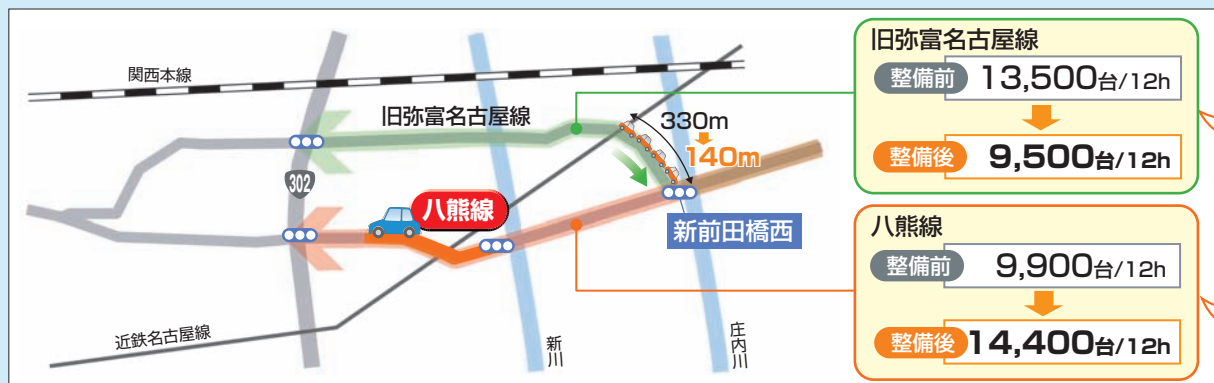
未開通となっていた榎光橋から国道302号までの区間が平成20年4月に開通し、市内東西方面の交通が便利になりました。



車の流れが変わりました。

交通実態調査：整備前は平成20年3月、整備後は平成21年1月に実施しました。

●旧弥富名古屋線の交通が八熊線に移りました。●



●旧弥富名古屋線の交通量が
約30%減少
●旧弥富名古屋線の大型車交通量が
約50%減少

●八熊線を利用する車が
4,500台増えました。

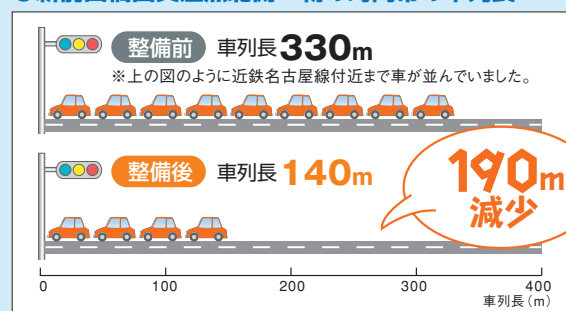
●渋滞が解消されました。●

旧弥富名古屋線は、慢性的な渋滞が発生していましたが、八熊線が整備されたことにより、渋滞が解消されました。



渋滞状況(旧弥富名古屋線)

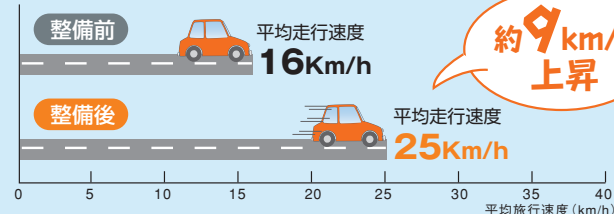
●新前田橋西交差点北側 朝の時間帯の車列長



●走行速度が上昇しました。●

八熊線が整備されたことにより、周辺道路の交通の流れがスムーズになりました。

●旧弥富名古屋線(金山方面へ向かう交通) 朝の時間帯の走行速度



生活環境が良くなりました。

●金山駅まで早く行けるようになりました。●

八熊線が整備されたことにより、国道302号から金山までの所要時間が短縮しました。特に、朝の時間帯の金山へ向かう場合に右記のような時間短縮がみられました。



■消防署からのアクセス向上

中川消防署から国道302号方面へ出動する場合も**約5分の時間短縮**になります。

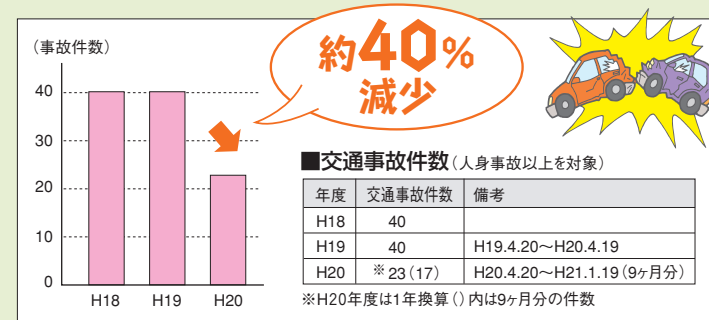
■お金に換算すると

時間短縮効果 ➡ **約14億円/年**

※費用対効果マニュアル(国土交通省道路局 都市・地域整備局)より

●旧弥富名古屋線の安全性が向上しました。●

八熊線が整備されたことにより、旧弥富名古屋線の事故が減少しました。旧弥富名古屋線における交通事故は、交差点において多く発生していましたが、交通量が減少したことにより安全性が向上しました。



●対象の学校

小学校：春田小、長須賀小
中学校：助光中、富田中



●環境が改善されました。●

二酸化炭素が削減されたことにより地球環境に優しくなりました。

整備前 **6,820t** - CO₂/年

整備後 **6,330t** - CO₂/年

※国土交通省資料より

490tの削減

杉×約35,000本が1年間に吸収する量に相当。

レジ袋を約476万枚を使い捨てた場合に相当。

【モノへの換算】

・1本の杉の木が1年間に吸収するCO₂量は**14kg**。(農林水産省林野庁HPより)
・レジ袋1枚を使い捨てにした場合のCO₂排出量は**0.103kg**。(EXPOエコマネーHPより)

●まちとまちが結ばれました。●

八熊線が全線開通したことにより、都心部の金山と蟹江方面がつながり名古屋市交通ネットワークが充実され便利になりました。



道路がないために迂回交通を強いられている地域や、密集市街地で防災空間が不足している地域を重点に、都市計画道路の整備を進めてまいります。

■連絡先

名古屋市緑政土木局

道路部 道路建設課 街路係

電話番号:052-972-2865